

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、メイン競技場、補助競技場および雨天練習場を原則とする。

### ①メイン競技場

- ア. 利用時間は、開場から競技開始30分前までとする。
- イ. トラックのみ利用を認める、ただし、競技の準備を優先とする。
- ウ. マーカー、ミニハードル、ハードル等の道具を利用しての練習はできない。

### ②補助競技場

- ア. レーンの使用については以下の通りである。
  - ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
  - ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
  - ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路7～10レーンのみとする。
  - ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、10・11レーンは男子110mHとする。
  - ・第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。
- イ. 道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止とする。
- ウ. 投てき競技（砲丸投のみ）の練習はトラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。その際、係員の指示によって行う。

### ③雨天練習場

- ・雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ・雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ・ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードルは使用できない。

④投てき練習（円盤投・やり投）は、招集完了後、現地で練習ができる。審判員の指示に従うこと。

## 2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

## 3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・走幅跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。

#### 4 選手招集について

- ①選手招集場所は第2ゲート付近とする。
- ②招集時刻は競技時間を確認すること。
- ※1：円盤投・やり投は、現地で招集を行う。
- ※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

#### 5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ④トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差の判定をする。ただし、着順優先とし、各組上位者のみとする。
- ⑤レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑥競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑦フィールド種目は試技3回とする。
- ⑧選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で選手に手渡しして映像を見せることができる。選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。

#### 6 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。い、やりの検査は競技開始60分前に第1ゲート付近にて実施する。
- ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

#### 7 競技場への入退場について

種目別入退場口は以下の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：投てき競技

第3ゲート：走高跳

第4ゲート：第3・4コーナー付近からスタートするトラック競技および走幅跳

#### 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等により変更あり）

		練習		以降
走高跳	男子	145	150～180 まで 5cm 刻み	180 cm以降 3cm 刻み
	女子	125	130～150 まで 5cm 刻み	150 cm以降 3cm 刻み

#### 9 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室については、大会受付後方スタンド内通路に入って右側にあるので利用してもよい。
- ④記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できる。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県高校新記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR